



## シームレス(つなぎめのない)民泊 1/27 避難者を受け入れる協定を締結

お遍路さんなど観光客に宿を提供する民泊の開業をめざしている「新野シームレス民泊推進協議会」は、本市と災害時に民泊施設で避難者を受け入れる協定を結びました。県庁で行われた調印式では、岩浅市長と協議会会長の青江徳訓さんが、協定書に調印しました。県は協定を結んだ宿に関し旅館業法等の基準を緩和します。現在5軒が今春以降の開業を予定しています。



## 安宅 涼汰さん (阿南高専5年)

日本福祉工学会の第20回学術講演会が前橋工科大学(群馬県)で開催され、安宅涼汰さん(阿南高専制御情報工学科5年)が「優秀発表賞」を受賞しました。安宅さんは、難聴者が生活の中で不便に感じている来客時の対応に着目。難聴者が来客者とドア越しでコミュニケーションが取れるタブレットを利用した機器を開発しました。開発では、実際に難聴者の方に話を聞き改良を重ねるなど実用に即した手法が高く評価されました。卒業後は東京のIT企業に就職する安宅さん。「社会に出て、世の中の役に立つ開発に取り組みたいです」と抱負を語りました。

日本福祉工学会学術講演会  
「優秀発表賞」を受賞  
社会に役立つものを作りたい



## 土井 優理さん (見能林小3年)

第62回青少年読書感想文全国コンクール(全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催)で、土井優理さん(見能林小3年)が第1席となる内閣総理大臣賞を受賞しました。表彰式が経団連会館(東京都)で開催され、土井さんが代表して感想文を朗読しました。題材は、あべこべな世界を描いた「さかさ町」(F.エマーソン・アンドリュース作)。土井さんは、「受賞できてとてもうれしいです。表彰式で読むのは緊張しましたが、最後の『相手の立場に立って、さかさを楽しみたいです』の部分を意識して強く読みました」と話していました。

青少年読書感想文全国コンクール  
「内閣総理大臣賞」を受賞  
438万編から選ばれた1編

## 1/28 北條民雄文学賞授賞式を開催

「北條民雄文学賞授賞式」が文化会館夢ホールで行われ約400人が参加しました。同文学賞は、全国から65編の応募があり、大賞1編、優秀賞2編、特別賞1編を選考。授賞式では、岩浅市長から大賞作品「北條民雄様へ」を執筆した森 水菜さん(23歳・熊本県阿蘇市)に賞状が手渡されました。また、受賞者と選考委員の対談や「北條民雄」パネル展も行われました。



## 体操を通じた交流の輪が広がる 2/6

介護予防と地域の支え合い体制充実のため阿南市が推進する「いきいき100歳体操」の交流会が、文化会館で開催されました。交流会には約130人が参加し、グループ紹介や質疑応答を通して各グループ独自の取組などを共有していました。また、新たに製作された阿南市版の体操のDVDを紹介。参加者全員で映像を見ながらゆっくりと体を動かし、心地よい汗を流していました。



## 2/9 第5次行革大綱策定へ 懇話会が市長に答申

平成29年度から5カ年を推進期間とする、第5次阿南市行財政改革推進大綱の策定について、有識者等で組織する市行財政改革懇話会から岩浅市長に答申が行われました。同会は、昨年7月に市長から諮問を受け、4回にわたり大綱案等を審議。岩佐健司会長が附帯意見を付して、市長に答申書を手渡しました。市では、3月に大綱・実施計画を策定し、公表する予定です。

## 刈り草を再利用した堆肥でストップ温暖化！

新野高校生などの取組がエコワングランプリ「環境大臣賞」を受賞



イオンエコワングランプリ表彰式の様子

「緑のリサイクル・ソーシャル・エコ・プロジェクト」(新野高校・小松島西高校勝浦校・小松島高校)が、高校生によるエコ活動コンテスト「第5回イオンエコワングランプリ(イオンワンパーセントクラブ主催)」の環境大臣賞を受賞しました。同チームは、県南部健康運動公園内の刈り草を使用した堆肥を開発。市内外で無料配布するなど、地球温暖化防止活動に取り組んでいます。また、「第4回グッドライフアワード(環境省主催)」の実行委員会特別賞や「第2回全国ユース環境活動発表大会(同実行委員会主催)」の優秀賞など多数の賞を受賞されました。



徳島駅前での啓発活動の様子



子どもフェスティバルで園芸体験教室を開催



講演活動も実施